

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワークステーション夢んぼ		
○保護者評価実施期間	令和8年6月4日 ～ 令和8年6月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和8年7月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来『働く事』を意識したトレーニングを行ったり、『自分で生活できる力』を作るための活動を取り入れています。	子どもたちが『働く』ことをイメージできるよう、事業所内にある就労移行支援、就労継続支援B型の作業の様子を見学するきかいを設けています。 また、生活に必要な衣・食・住に着目したプログラムを考えています。	今後も学年や進学先・就職予定に応じたプログラムを、提供できるように努めています。
2	大人とのコミュニケーションや子ども同士のコミュニケーションの場を多く設け、人と人との関わりを大切にしながら協力して取り組むことで達成感を感じられる活動を行っています。	相手に伝える時、どのような言い方をしたら伝わるのか考えたり、相手の気持ちを考えたりする事を、レクリエーションや活動を通じて学ぶ場が出来るように心がけています。	相手への伝え方、話し合いの方法、自分の気持ちの伝え方など、必要に応じてアドバイスをしながら力を付けられるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日によってご利用者様の人数が少ない日があります。	夢んぼでの生活の様子や、活動内容・活動中の様子を発信したりお伝えする機会が少ない事があげられます。	子どもたちや保護者の方に将来に向けてのニーズを確認することで、興味を持って頂けるようなプログラムを提供できるよう努めています。また、活動内容がわかりやすいようにInstagram等を通じて発信していきます。
2	子どもたちの変化など、保護者の方にうまく伝えられていないことがあります。	面談等で様子を伝える機会はもうけていますが、3か月ほど期間が開くこともあり細かく伝えられていない事があると思います。	より細やかな変化も伝えていけるよう、送迎時や電話・連絡ノートを通じて情報共有がをして連携を深めています。
3			